

水 泳 部 歌

作詞 古 林 喜 楽

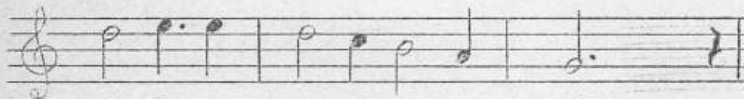
作曲 山 田 貴 彦



1. ま や 六 - 甲 - に い だ か れ て こ こ む こ が お か の
 2. フ リ - ー プ レ ス ト バ タ フ ラ イ バ ッ ク - リ レ -
 3. あ あ な つ か し の す い え い ぶ ろ っ こ う だ い の -



み ず き よ し ち め の う ら わ を み お ろ し て - し ぶ き を あ -
 ポ ロ ま で も り よ う え い け ん じ の い き た か し い ざ や き そ
 プ - ル ベ に つ き み の え ん で - お よ ぎ や め く る な つ ま -



げ る け ん だ - ん じ
 わ ん う で を - ぶ し
 っ て い き い り た つ

545

部 歌

古 林 先 生 作 詞

1. まや六甲に抱かれて
ここ六甲台の水清し
ちぬの浦和をみおろして
シブキをあげる健男児

2. フリ プレスト バタフライ
バック リレー ポロまでも
凌泳健児の意気高し
いざや競わん腕を無し

3. ああなつかしの水泳部
六甲台のプール辺に
月見の宴で泳ぎやめ
くる夏まっていきりたつ

先輩からの便り

ありがたや荻藻プール

古 林 喜 楽

私の悲願が遂にかなって、神戸にも三百六十五日泳げるプールが、出現した。兵庫は荻藻島に、神戸市が鷹芥焼却場の余熱を利用して、温室プールをつくってくれたのである。水泳部の忘年会でたちまち衆議が一致し、毎月第一月曜日の午後六時に集合して、競泳会の水泳デーにすることにした。おかげで一月二月も、三月四月も、懐しの面々相集まり、泳ぎあっている。あとのビールが又格別の味で、毎月の第一月曜が待ち遠しい。私も相当方々で泳ぎまわったが、正月に泳いだのは、今年が生れてから初めてである。やっぱり長生きはすべきものだ、つくづくこの頃思っている。憂しとみし世ぞ今は楽しきである。

こうなれば次は是非でも、神戸大学に、温室プールをつくらねばなるまい。この方は今まで私は、くどいほどとなえてきたの

で、あとは競泳会のかたがたに、まかせることにする。競泳会の諸兄よ！この私の悲願もかえて下さい。

私の再三の悲願は、家の庭に簡単にしてくれるプールの考案を、うみ出してほしいということである。七米位の小型プールでよい。一寸土を掘って、はめ込むプールが、やすくでできないものである。鉄板プールが、あちらこちらでつくられているのであるから、小型をつくる位は、大したことでもなからう。

これでは私も仲々死なれない。にくまれ子まだまだ世にはばかりますよ。

旧神戸高商水泳競技の

始めの頃

白 山 源 三 郎

私の神戸高商に入学したのは大正六年四月であったから、学校が出来て十九年経って居た。神戸市葦合の山手にあつた頃である。それは特に水泳部と云う程のものはなく、同好者が夏季に、学校からズット下つた敏馬の海岸、当時、外人クラブのあつた辺りの海浜で、遠泳などを催し、校内売店でミルクやコーヒーを売る店のおばさんになんて、アメ湯を造って貰ったなどの話をきいて居ただけであつた。

この年の夏、東京の芝浦で第三回極東選手権大会（俗称極東オ

リンピック)が行われ、私も水泳の日本代表選手に選ばれて居たのであるが、当時官立(今の国立)大学専門学校学生が運動競技

などの為長期間欠席することを許されて居なかつたので、或日突然無届欠席で東京へ行き出場したと云う訳である。最近クラス会にこの話が出て、同級生の一人が「その時、隣席の白山と云う奴が欠席して居るナ」と思つて、二三日して極東大会の事を新聞で見たらお前の名前が出てるので、ハハハ黙つて行きやがったナと思つた事を覚えて居る」と話してくれた。新入生でもあつたし、下手すると処罰までとは行かなくてもお叱りを受けることを覚悟の上で出場したと云う訳、叱られた記憶がないので、その儘で済んだ様である。大会はフィリピン、中国、日本の参加で百米自由形に内田正練、斎藤兼吉、二選手と共に出場して、決勝三着となつた。

二年後に第四回がマニラで行われた時、間近かになつて日本代表選手に選ばれたから準備をする様にと云つて来た。所が少時して、文部省から通牒があつて、官立学校学生は運動競技等の為、長期に亘り欠席することは許されないと来た。当時神戸高商は陸上王国と云われた程であつたので、陸上競技の選手は十名位同じ運命となつた。隣りの関西学院の学生は私立だから数名の陸上選手が出場した。今では考えられない事である。この時分から、大学高等専門学校でも水泳の競技が始まり、日本で大学高専の水泳對抗競技としては今では最古のものとなり昨年第五十回を祝つた

神戸、大阪両高商の對抗競技も、その頃一九二〇年(大正九年)に始められたものである。

水泳競技にはプールが用いられたのでターニングの練習も必要である。海では練習がしにくいからプールがない。そこで当時の葺合の校舎の東の方、青谷の下の方、篠原にあつた池へ丸太や板を持つて行つてターニング台を造り、ポチャポチャやり始めた。学校からは下の方遙かに美しい海の見えた当時からアンチに結構な海があるので、汚ない池などで泳ぐ馬鹿な奴どもだとよく云われたものである。然し案外長い間この池のプールは我水泳部員に用いられて居た様である。初期の古強者にはこの池に連らなる我水泳部初期の数々の思い出があることであろう。

学10 鈴 木 啓 介

私もいよいよ停年に間近かく、今後は仕事をへらして、専ら健康と、人生を楽しむことに重点をおきかえることに致しました。

過日古林先生には手紙をさし上げておきましたが、今年から豊橋水泳協会の副会長をしています。会長は、かつてのオリンピック優勝者、清川氏(兼松江商常務)の長兄、清川仲二氏です。この方も第一回実業団の全国大会で優勝しています。理事長は私の

後輩の田中令吉氏（日米対抗戦の日本代表であった）であります。先週の土曜日に納会を致しました。本来は第一回職域別全国大会を豊橋で行い、ブリジストン側が勝ちました。

今年は泳ぐ機会が多かったので家にいる日は毎朝一五〇〇米流していきました。タイムは大体二八分台が一番多かった。市営プールも十月に閉場しました。

神戸と東京の丁度中間地点にあって便利がよいので、合宿などには都合がよいと思います。

十月からは陸上の一〇〇〇〇米を続けたいと思っています。一年の中十月と五月の間はマラソン、六月九月（中旬）の間は水泳をすることになっています。ゴルフなどは面白くないので一時ハンディ13になったときやめました（欲しいカップは大体取ったので）。

一昨年は第一回の年寄の世界大会に行って遊んで来ました。予定通り二五kmまでは走っていたのに左足のケイレンで四十五分間停止していたので、入賞はおろか四三等となり残念でした。しかし四二・一九五米は長いですね。目下減量が調子よく、四七kgにわたるので走れそうです。

父親が七十八才ですが働いているので、子供の私が遊んでいる訳に行かず、失業者にならない程度に仕事をしています。五十才の頃は七つの会社の監査に従事して首が廻らない多忙さの中になりましたが、目下三つに減らし、その中二つにへらして、人生を楽

しむことに重点を移行しています。日本は余りにも国家が税金を取るので、働いても残る金は余り変わりません。一〇、〇〇〇円かせいで（純利益、税引前）税金に八、〇〇〇円取られては、働く気になれない。大学の時、財政学のゼミでしたので、課税原理は今でも覚えていますが、生産意欲をなくするような税金のあり方に疑問があります。

家族は四名ですが男が自分一人きりで、がっかりしています。しかし、目下は相当気ままに生きているので、やゝ満足しています。若い時代は楽しいものですが、人生も先が見えて来たような年令になると、物の感じ方や考え方が年寄りくさくなって、面白くない。それでも水泳部に入っていると昭和二十六年、勤労者大会のオービーで県の予選で優勝した頃、当時一緒に練習した中学生・高校生が、中学や高校の教員になっていく人がかなりいて、公認会計士の第三次試験の受験勉強の頃を思い出して、酒をくみ合っている時など、当時のことを話してくれるので気分が若くなって面白いですね。しかし残念なことに全国大会へは用事のために参加出来なかった。まるまる四年余り毎日勉強して、ようやく第二二四番目で第三次試験（昭和二十三〜三十年）を通過したのですがその頃が懐しい。

諸君、遊べるときに後に後悔しないように充分に遊んでおくことですよ。半年の後には卒業していく人達がいるでしょうが、よく遊び少し勉強することです。勉強などは社会へ出てからでも

出来るが、遊ぶことは出来ませんよ。私は暇つぶしの目標に別の
国家試験をやってみようと思つてゐる。

水の中毒という

つまらない話

新 7 前 田 修

酒によるアルコール中毒、煙草によるニコチン中毒の話は昔から耳がたこになるほど聞きますが、水による中毒という話は恐らくお聞き及びではありませんまい。筆者の専門としている化学の見地からでなくても、一般常識からでも、生命の根源といわれる水がそのように危険なものであつてはすべての生物体の生命が保持できなくなります。またこのことは、いまやかましくいわれている水の公害汚染の問題をいっているではありません。久しぶりにおたづねした神戸大水泳部プールでの練習前、現役諸君との談笑の結論であります。

一遍泳いだやつは必ず水泳中毒に掛かるといふ話であります。

一遍泳いだやつは何年経つても自分がかたに水泳が好きであるかを得々としゃべつて機嫌が良いといふ話であります。

そこで一水泳中毒患者の繰り言をお聞き願うことに相成ります。共に歩いてゐた友人がプールに近づくと私が走つて見に行くといふのです。自分では言われてはじめて気が付きます。残念なこ

とに決して理論通りには手足が動かない選手でしたが、同じ泳ぐなら長い水中に居られる千五百米しか泳がないとか、雨が降ろりか槍が降ろりが泳いだ記憶があまりすから、現役を離れてかたにになる今でもプールを見ると胸が高鳴るのも無理からぬことだと思ひます。

先日、現役選手に堂々挑戦したとき、昔やつた自由型のみは何とかついで行けたと思つています。ただし「現役当時速くはなかつたが、十年以上経つた今日でも実力はそれほど衰えてゐない」と平素から御自慢してゐる先輩をコテンパンにやつつけるのは忍びないといふ現役諸君の恩情が実情らしい。：：が自分ではあくまで実力と信じてそうは思ひたくない下手の横好き、私の親父と私、そして二才になる長女も十米くらい泳げそうなので、三代に渡る水泳選手だとりぬはれてゐる水泳馬鹿も広い世間に一人くらい居つても御愛さようだとお許し願ひます。

水 泳 と 私

新 10 山 田 貴 彦

三分一二秒五（ブレスト二〇〇米）。私の在学中の、いや生涯のベストタイムです。今の水泳部諸君に比べれば真にお恥ずかしいよきを記録だが、これでも京阪神三大学戦や対市大戦のよきを

エントリーが三人まで認められた試合には出場させて貰い、チームの得点には何も寄与できなかったが、私個人にとっては生涯忘れぬ事の出来なない青春の思い出となっています。

卒業してからはグット水に恵まれぬ環境となつたが、水に対する親しみはもはや本能的に断ち難く、暫らく外地にいた頃も必ずズパンツを持ち歩き、水さ先見つけければ例え五分でも10分でもカッパの本性を現わしたものです。

現在は福岡で銀行稼業に精出していますが、当地は工場が少ないせいか、未だに博多湾内に数多く海水浴場に恵まれ久し振りに水に親しんだ生活をエンジョイしています。

ところが、最近になつて気がついた事に、博多ッ子には泳げない人が意外に多いと言ひ不思議な現象がある事です。これはいろいろなる人の意見を聴いてみると、結局、海水浴場が近いが故に小学校・中学校にプールが少なく、結果として体育として泳ぎを習ひ都会ッ子より泳げないと言ひ事になるらしい。これではイカンと、目下請われるまゝに近くの県営プールで毎週銀行の女性グループに水泳を教えている次第です。

人呼んで『山田スイミングクラブ!?』

発足後未だ日も浅く練習量も僅かですが、初めの頃は顔を水にもつけられなかつた彼女らの中にも、ポツポツ五〇米プールを泳ぎ切る者が生まれ、又一人水泳人口が増れてくれたかと思つと、日本選手がオリンピックで優勝（なんでツイソ聞いた事がないが）

した時よりウレシイ気がします。私は自分に体的に限界があつたせいかもしれないが、どうも水泳における質的向上より量的拡大の方が楽しみが持てます。それは量が拡大すれば質の向上も必ず期待できるからかもしれません。この点については渡泳会の諸先輩もおそらく認めて頂けるのではないかと思います。何故なら、先輩諸兄の中にはジューニア誕生と同時に『この子が大きくなつたら是非神戸大学に入れて水泳部で鍛えさせよう』と真顔で言う御仁や、未だヨチヨチ歩きも出来ぬ子を歩行器ごと池の中にザンブと投げ入れ『サー！泳げ泳げ！』とやつて嫁さんの肝を冷やさせた超エージグループ養成者など、その数を知らず！私も何時の間にかやら二児の父となり、この夏は白砂青松の博多の海で親馬鹿振りを発揮することになるでしょう。嗚呼！

雑 感

新 18 井 上 与 志 男

今年も又、水の季節がやって来ました。楽しくもあり苦しくもあつた四年間の水泳部生活にも一応のピリオドを打ち、今振り返つて考えてみると、嫌々を思い出が頭の中に甦つて来ます。

大学生活というものに大いなる夢と期待を抱いて入学した頃、水泳が好きなのは確かでしたが、まさか水泳部に入って毎日泳

ぐことなどを考えてもみなかったのに、これも「練」とでも言うのでしょうか、入学式の当日に入部し、それから毎日がつらく、苦しい練習の連続でした。でもそんなつらい練習ではありませんが、何となく心がうきうきするのです。あるいは期待と同時に持っていた心の不安というものが、毎日の規律正しい部生活の中で少しずつ姿を消して行ったせいかもしれません。新入部員も十余名色んな奴が居ました。そして先輩の中にも一人として同じタイプという人は無ませんでした。最初の一年間が過ぎ去りました。多くの先輩から言葉を通して又、その行動を通して数々のことを学びました。良いこと悪いことは自分なりに取捨選択し、ある先輩の行動については心中敬服し、又ある先輩の言葉には軽蔑や怒りを感じた事もあります。

とにかく楽しかった一年間は終わりました。二年目からはマネージャーの仕事を手伝われるようになり、三年・四年とマネージャーをやりました。事務的な仕事を口実にその頃からはあまり練習に参加することもなくなりました。今考えても、もっと皆と一緒に泳ぎ同じ苦しみをそして楽しみを味わえなかった事が残念でなりません。

マネージャーとしての失敗も数知れず、キャプテンをこれも二年間勤めた玉置によく心配をかけたものです。玉置については二年間もキャプテンというこの上なく苦しい立場をよく立派に買いたものだと感じているばかりです。

話は変わりますが、先日、プールへ足を進んだ時、練習を見ていて、四年前を思い出し、わずかに四年の間に随分と変わったものだとつくづく思いました。まずプールです。我々が入部した時には水の中で自分の手足さえ見えなかったのです。それが今では二年前の浄水装置設置以来、全く見違えるほどの水の美しさです。そしてプールの変遷と同時に部員の顔も違っています。我々が入部した頃は、四年生つまり最上級生は鬼の顔より強ろしく（といっても練習中だけの事ですが）とにかくいつ怒鳴られはしないかとびくびくしていたものですが、今見る新入生の顔はまるで明をく大らかな感じさえするのです。上級生に対しても自由に（本当に自由に！）物を言い練習に励んでいるのです。良い悪いは別として確かに水泳部は、というよりすべてのクラブ活動にいつ言えることかも知れませんが、その体質というものが変わりつつあるような気がします。

クラブ活動の意義というものも改めて考え直されるべき時期が来ているのでしょうか。それともこの変り様は過去のどの時代にもあったことなのかも知れません。

いずれにしても、大学の中でその又水泳部の中で四年間を過して行くのです。

どの時代の人も多く思い出を残して水泳部を去って行くことでしょう。その人の青春の一部又は全部が水泳に費されるのです。考えてみると何と楽しいことではありませんか……。

四年間の大学生活を終えようとしているが、その中で水泳もいつまでも心に残ることであろう。タイムの上では今一ついい記録がでなかったのが非常に残念である。目標利益をならぬ目標タイムはないのであるが一応満足はいく記録をあげられなかったのが心残りである。原因はやはり練習量が足りなかったかと思える。よくないことであるが、自分からすすんでは決して練習しないタイプであり、量・質にもう少しきびしい練習だといっていると思う。今も思うけれど練習すればするだけ最初は疲れても、慣れば楽に泳げたようである。

水泳以外のことについては、自分ではその時はそれでいいと思つていろいろとやつたつもりであるが、今から考えると反省することが多い。もっと多くのことを経験すればよかった。もっと勉強すればよかったと思う。十分やつたといえること、そして今でもまだやりたいことはマイジャンだけである。実際は大学生活もまだ残っているのでフルに生活しようと思う。

四年間の大学生活が幸福だったかどうかかわからない。幸福とは何かかわからないのでしかたないと思うが、これからも、幸福を求めながら、考えながら行かなければなるまい。

以上で終了だけと大学生として要求されることの私感を述べる。右翼が独占資本を作ったのであれば、全共闘もそうであり、

右翼が独占資本のためだけにだけあるものならば全共闘もそうである。なぜなら右翼も全共闘も金の出所が同じく独占資本であるから。なぜなら大学斗争で、最も利益を得たのは、得つつあるのは政府すなわち独占資本であるから。

― 以上雑感 ―

北 村 義 彦

今年の山場もすみ、ほつとしておられることでしょ。年々記録が更新されていくのを知り、喜びと生きていく事への新たな勇気がわいてきます。私も卒業以来夏には所が変わりますがプールに親しんでおります。

小学生に泳ぎの喜びを教え、泳げる児童がふえていくのが何よりの楽しみです。中には市の記録会で大会新を出してくれる子も何人かいます。大学時代に学んだことが職場で役立てられ感謝しております。

住所と勤務先が変わりましたのでお知らせ致します。

新住所 西宮市丸橋町八一八二

新勤務先 西宮市中浜町三―三二 香櫨園小学校

上 村 久 治

先般、私は左記へ転任になりました。

昨年は病氣のため、一度もプールに入れませんでした。が、本年、やっと数回水に入り、今更ながら、水泳の楽しさを味わっている次第です。

皆様によろしく。

記

東京都千代田区丸の内一ノ三ノ二 新住友ビル内

隣住友倉庫東京事務所

東京凌泳

カップゴルフ会開催の件

一、開催の主旨

御啓 御無沙汰しましたが、今日も仲々元気です。卒業以来今日までも毎年かかさず愉快に泳いで居りますと云える人は恐らく数える程しか居られないと思います。凌泳会も幾星霜と重ねる中に非常に大きな団体となりましたが、会員相互の縦・横の連絡網とも云える親睦的会合が少くない為に、会員相互間の親しみが失われ勝ちであります。

丘に上ったカップ同志が陸上でも利害關係を離れてお付き合いして行きましょう。母校の水泳競技以外の時にも偶には相互連絡位の交際があった方がよいではないか。こういうムードが何処か

らとはなしにわき出づる泉の如く起って参ったのであります。之を具体化する意味から誰でも気軽に遊べる手段としてゴルフは適当でしょうと云うことで、始めることに致しました。

時期は毎年二回、春一回（4月、6月の適当な日）、秋一回（9月、11月迄の適当な日）定期的に実施致します。戦績は雑誌「凌泳」に掲載することにし、出場者には全員賞品を贈呈します。場所は臨機応変に決定します。優勝カップ贈呈等も計画中です。何卒奮って御参加願います。

二、第一回東京凌泳カップゴルフ会

(1) 日 時 昭和四四年九月六日（土）

午前十時三十分アウトよりスタート

(2) 場 所 神奈川県藤沢パブリックコース

(3) 競技方法 18ホールズ、ストローク、ブレイ

(4) 成績

優勝	次賞	三等	備考
坂野亀八郎	小山賢之助	小平喜一郎	
41	54	68	
41	56	71	
82	110	130	
14	27	36	
68	83	103	

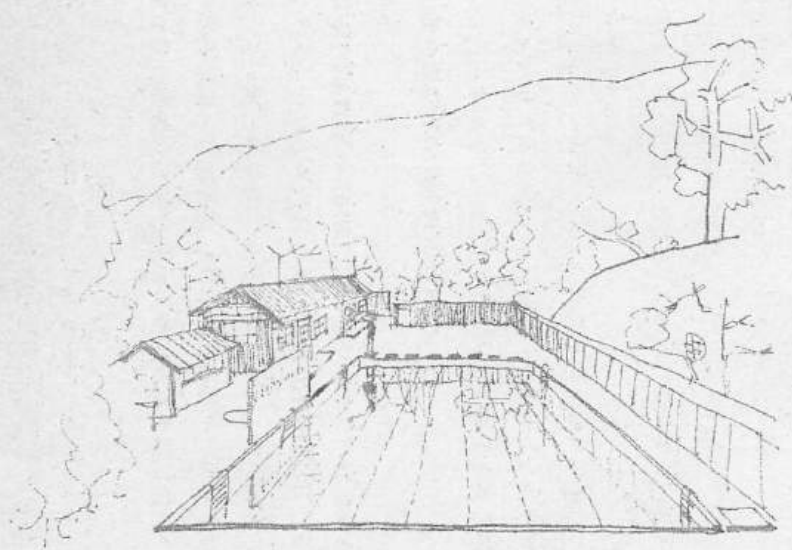
(1) 当日出席予定の野村弘氏及び小池三郎氏の御両名は仕事の關係で欠席されました。

(2) 当日は向風稍々強かったが、快晴にて、絶好のゴルフ日和の下で行われ、仲々面白く愉快に過す事が出来ました。出席者

三名は何とも淋しいと云う以外に形容の言葉がない。
(8) 次回開催予定は昭和四五年四月〜六月頃の予定につき、奮って御参加乞う。

東京凌泳カッパゴルフ会

世話人 小平喜一郎



云いたたい放題

昭和四四年度

全日本水泳競技選手権大会
第三日 観戦記

競泳会 LEISURE CLUB 本部長

LEISUREとは余暇と云う意味である。元来有閑階級がもてあそぶ程ある時間を暇に任せて遊ぶと云うことかも知れない。現代では広義に解釈されて、競争激甚を資本主義社会の多忙な生活から所謂、楽しむ時間を作り出して明日の英気を養う為に面白く諸々の *Entertainments* を楽しむと云う意味に *Develop* して使用されている様である。小職もかかる大乗的広義の視野からレジャー解釈して、お客さんの角度から *All Japan* をカメラを手にしたがら観戦した模様を下記の通り御案内致し度いで気軽に読んで下さる。

記

日時 昭和四四年八月三十一日

一四時三〇分～二一時三〇分

場所 東京代々木オリンピックプール

全日本の精鋭代々木の殿堂に集いて覇を競い合う。予選、準決勝と勝ち抜いて決勝に残った各選手の顔をのぞき込む。緊張した重苦しい空気が予想されたにも拘わらず、案に相違してどの選手の顔にも笑ひがみえ和やかな *ATMOSPHERE* の中で、この日に *CONDITION* を *BEST* に置こうとした努力の跡がありありとみえる。

一、飛込競技から *BEGINNING*。

よくもまああんな高い処から平氣の平佐で水中に美しいフォームでスッポリと入ってしまうのか知らんと思われる程美事な *STYLE*。殆んど水音がしない様である。選手の殆んどは日体大と日大。

結局一位、二位、三位と日体大の独占舞台。神戸大学から一人位居っても悪くないね。

二、*WATER POLO*。

稲泳会 一 桜泳会

技術伯中同志。最初から接戦で相手を自分の *PAGE* にひきずり込む努力が盛んに続けられる。終始接戦で面白く、見る者を楽しませてくれた。両軍ともトリコボシがなく、僅かな間隙

を抜いてポールを連撃し、ゴール前七、八メートルの距離から
○ MIDDLE SHOUT で得点して行く処、さすが大したも
のだ。稲泳会に稍々一日の長あり、ワザありマッタならすと云
うキワドイ処で対して稲泳会が逃げ込んだ格好で優勝する。

三、競泳種目

(1) 記録的な面は御承知の通り女子三種目に日本新記録が出た
に止まって居るが、低調と云う言葉で片付けてしまひのは可
哀想である。

戦前及び戦後間もなくの頃に比較すれば、格段の進歩であ
る。然しながら次のミューンヘンに期待をかけている日本水連
幹部から見れば、がっかりさせられる点が多かつたのでけな
かるうか。次のオリンピックで獲得できるメダル数を事を考
慮に入れた場合、世界的記録の水準の J.P. は Japan の水
泳界にとって非常な驚異となり、又大きな壁となつて行手に
立ちふさがっているのである。

一五〇〇メートル自由型で米井が勝負強い処をみせて高瀬
・伊藤の両者を振り切る。高瀬・伊藤は洗練されたベテラン
らしさを見せる。一〇〇メートルバタフライは丸谷・高田
がさすがに力強い第一人者らしい強さを見せてくれた。尾道
高校の早稲田はナンバー・ワンらしく余裕を以て最初からフ
ットばしてそのまま押し切る。

競泳で印象に残ったのはこんな処か。

(2) Age Group ① 躍進

高校生、中学生の活躍は REMARKABLE。

特に女子選手の記録的の上昇は著しい。女子の記録が往年の
男子の記録に肉薄すると云つた処までは行かないが、仲々ビ
チビチとしたカエルみたいに快調な泳法をみせてくれ、前途
への頼もしさを感じさせてくれた。

日本連の Age Group 養成の成果が着実に実を結びつ
つある。水泳環境が非常によくなり屋内プールが増加して一
年中泳げる様になり水に親しむ機会が多かつた事等が
Record 向上の原因とも結びついている様である。

(3) 特に眼に付いたのは旧い選手、例えば日本銅管の松本健次
郎君等未だ決勝で入賞し得る実力を持っているのは特筆大書
されて然る可き処だろう。

(4) 役員の真摯な態度

1. むっとする空気のなかできちんと椅子に腰をかけている態
度ばかりでいて気持が良い。仲々よく訓練されて居つた。

余り書いて后で生意気を奴だなんて怒られたい様にこの程
度にして置きましょう。

2. 特に藤田明氏の昔からの何時に変わぬ厳正をきびきびし
た態度で立派と形容するの外ない。

3. 葉室鉄夫氏 (ブレスト)、遊佐正彦氏 (短距離) 等の顔
もみえ仲々よき WOOD を作ってくれた。

4. 計時員も規則通り時計を太ももの所にビタリとつけて、左右にゆさぶったりせずに、勿体振った態度を示す人は一人もなかった。

5. 審判員は永い間の水泳歴のある方が多いため、わき目をせず、ゴールに入ってくる選手に真剣な眼を注いで、ゴール際の一人一人の選手の着順にまんじりともせぬ面持ちで終始一貫していた様だった。

以上拙い観戦記永々御愛読戴きまして有り難う存じました。では又次号でお目にかゝりましょう。

凌 泳 会 案 水 子

感ずる処有り。雑誌「凌泳」の内容をもう少し豊富にしてユーモラスに面白く読める様な記事があつてもよいと思つて毎号寄稿する事にした次第。皆様の御同意を得次第、時間の許す限り続ける積りで居ります。内容に応じて作者名は案水子となり、レジャークラブ本部長となつて皆様の御要望に答えたいと存じて居ります。然しながら人物は同一人で御座居ります。小職の本名を是非知り度い向きには何卒凌泳会事務局に御照会戴き度いと存じます。御速慮なく御批判賜われれば幸甚に存する次第。

尚 Direct に小職宛の Telephone Inquiry は都合に

より一切辞退させて戴きますから左様御了承願います。

水泳言いたい放題 第一回

凌 泳 会 案 水 子

拜啓 私の名前は案水子と申します。凌泳会のマンネリ化を防止し、心底から案じ、その将来につき真剣に考えます。凌泳会に一度危機到来すれば、疾風迅雷の如く来り、安泰に復すれば速かに立ち去る。凌泳会に人生の潤いを与え、LEISUREのOPPORTUNITY を与え、憩の場を提供しようと思つた。或る時は憎まれ又或る時は喜ばれるが、終始一貫凌泳会の REMOTE CONTROLの LUBRICATING OIL としての運営面に何等かの働きかけをして行く。ユーモラスな SPORTS 団体として健全な GOOD をかもし得るならば、その役目は達成される。外野の立場から「お題目を気持で言いたい放題意見を述べるのが案水子である。現状勢下では案水子の存在意義が大いにある。必要がなくなつたと自他共に承認した時自然消滅すること必定である。水泳では素浪人なるが故に平常は何もしない。北島三郎と花山大吉的な働きをしてみようと云うのが案水子である。

カップが丘に上つて職業柄水泳に関心を持てる時間が次第になくたりつつある現状である。水泳から一切引退してしまつて全く

無関心と云うのでは余りにもつまらなすぎるし淋しくもある。

健康保持と若返りと云う一挙手両頭足をねらって水に親しんで行くかと思えて居ります。

次の事やMY ROUTINE WORKとして続けたSが、三日坊主のPOSSIBILITYなきにしも非ず。

1 一週間に一度POOLで流す程度に泳ぎましょう。

2 日水連の機関誌「水泳」位購読しましょう。

3 競技会にはOBSERVER と云う立場から観戦することにし、競技の模様をCANONET CAMERA で撮影し記念に残しましょう。

今年も又値上げの秋になりつつある。秋の味覚サンマ一匹百円と云う高値。子供のキャラメル、学用品にまで値上げの波が押し寄せようとしている。

政府が高度経済政策を続け、国際収支の安定を計ろうとすれば必然的に物価が高騰せざるを得ない。貨幣価値は下るばかりである。サラリーマンの給与所得のBase Upも水泡に帰せざるを得ぬ。国民総生産では世界第二位を誇示しても国民所得では第二位当りをウロチョロしている現状では当分の間政府は現在の政策をKeepせざるを得ないであろう。之が亦競泳会費値上げという問題にはね返ってくるのも止むを得ないことになり兼ねない。会費と云っても馬鹿にならぬものである。負担する会費の数

だけでも四、五位はあるので年会費にして五、〇〇〇円、

一〇、〇〇〇円位は無償にて支払うことになる。サラリーマンは金作りをして行くと云う宿命を背負わされている関係上少じでも会費の支払いを少なくしたいと云うのが人情である。

一体競泳会費が満身に全員から徴集されているだろうか。現在の会費の意義を考え方をImproveせぬ限り現状では半額集金できれば良い方である。競泳会費を義務制的に皆さん方に出資して戴き株式会社競泳会を作り、皆さんの力でやって行こう。皆さんの下からの盛り上げる力で競泳会を創り直して行かないと競泳会はニッチもサッチも行かない処にまで追いつめられている様である。

現状では寄付する人は水泳が根から好きだからと云うCLASSと学生時代に特に先輩に御世話になったからと云うCLASSの二種類に分けられると思う。第三者から公平に判断すると甚だ不合理に考えられてくる。之が義務制にする第二の理由である。

競泳会も毎年会員が増大し大きな組織となりつつある今日、この辺で皆さんでじっくり考え直さねばならぬ時期が到来した模様である。

筆者も以前某競泳会員と競泳会とは何ぞやと言ふことに付きMail Exchangeに依り討論したことがあるが、一部の人を除き、幹事とは名目上の存在にすぎず、会費も半額程度しか回収されていない現状では兎角起り易い問題である。理想論を迫る前に富士山頂へのCableに到達するまでの七〇%位の目標

達成は幹事任せにしないで、競泳会の組織力を生かして会員各自が多少の関心を以て努力して行けば可能である筈である。

若い息吹きを敗りことはO・Bにとって非常に健康的であり大いに必要でさえある。從而絶えず出来得れば現役と接触を保つことも若返りの意味で意義あることである。

今回はこの辺で Bye Bye することにしようね。余り惜まれない中にね。

敬 具

第二回 現役水泳部の資金運用と 調達に関する一考察

競 泳 会 突 水 子

現役水泳部員と接触する余裕が皆無と言った状態なので細かい事はよく分らぬが、現役諸君にフランスになりそうなことを提案し度い。創成期時代の水泳部員には先輩と云うものがなく、会則等が存在せぬが為に会費、寄付金は全然なく校友会費以外に生じた不足費用は殆んど自己勘定によって賄って居たに違いない。自由主義華かなりし頃、寄付金がなくてもなんとかやって行けた結構な時代であったからに違いない。然しながら諸先輩はそれなりに水泳部を創立して行った所謂生みの苦しみと云うものを経験されて居るわけで別な面での御苦労が多かったと想像されるのである。星霜移り、人は去り、何回転かして行く中に会則もできて会費制

度も生れ、逆に競泳会費がないとやって行けぬ時代とはなった。

当初は寄付金として出資したもの、現在では誰もが義務的に出資せねばならぬ様な性格を帯びつつある。古い先輩諸兄の中には「俺達の時代には何の恩典もなかったでけないか。何も義務的にをぞする必要はない。足りなければ学生が勝手にアルバイトでもして収入の途を考えたらよいではないか」と考えられる方々が大半であろうかと存じます。之が当然の事かも知れませんが、学生時代は成る可くアルバイトをさせず学問とスポーツを両立させながら School Life を Enjoy させてやって欲しいものです。何分共宜敷く紙上をかりてお願い申し上げます。

昭和元祿とは暮しよい時代である筈なのに、案外諸経費のかかる暮し難い世の中である。物価は毎年上昇するしね。政府が高度経済政策を基盤とした国際収支の均衡化の面ばかり努力を払いすぎた結果である。

大学水泳部は単なるアマチュア団体である。営利企業であつても経営不振から倒産する会社日本全国で月に五、〇〇〇、〇〇〇件（USAに於てさえ相当数の倒産があると聞く）と多いに、アマチュア団体が採算を度外視して運営されるならば（ここに云う採算とは計画的な運営、資金を有効に投入すること等を云う）経営が苦しくなるのは当り前の事である。

競泳会員が多数存在する大企業に於て毎年大口の寄付でも為され得るならば簡単であるが、望み得べくもないので、冗費を省い

て必要経費に充当し、常に一挙手一頭足が採算に乗って居るか否かを念頭に置いて、資金を重点的・効率的に運用する工夫がなされて当然である。その為には現役部員は Season Off 等には極力競泳会員と接触して親交を保ち、その指示を仰ぐ様にした。諸君は無職の FREED の立場にあるから、成る可く OB 会員の主催する MEETING 等に参加して、その空気を吸うことに依り、偶にはその環境の中にとけ込むこともあってよいと思うのである。そうすることによって現役諸君は諸先輩の人を知ることができるのである。

現役マネジャーが毎年、割り当てられた予算額の中から高い旅費を使って会費、寄付金等の集金に走り回することは余り感心できぬと思う。

現役部員の予算が有り余って居る現状をいざ知らず年がら年中ビービー雀が囀り居る現状では相当経費を切りつめて行く必要があるのではなからうか。それに費すべき費用を選手の強化費に振り向けたらよいと思う。

競泳会費は一人一人が現役水泳部の台所の状況に関心を持ち、少くとも会費位は催促されなくとも送金する位の親心を持ち度いものである。

雑誌「競泳」誌上に会員の声の欄及び現役部員の声の欄を設けて無記名で意見等を発表し合う試みも面白いと思う。競泳会は特定の人に限られた専有物ではない。現役・競泳会員が Hewt を

Open にして膝を交えて語り合ってこそ会の進歩向上があり得るのである。現役水泳部を含めた競泳会も現在漸く富士山の五合目乃至六合目当りをトボトボ歩みつつある様である。胸を張って一歩一歩前進して行こうではありませんか。

まごまごしていると水前洋清子さんにピンヤリと気合を入れられますよ。

第三回 何処へ行っても一杯だ

兎角浮世は窮屈だ

競泳 会案 水子

「お控えをすって」「お控えをすって」名乗り出ましたのは案水子。水泳プールをコース・ロープに沿って泳ぎながらこう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。住みにくさが高じると安い所へ引越して悠々と泳いでみたくなる。何処で泳いでも泳ぎにくいと悟った時、新記録が生れる」とでも云いたい、果して本当にそうでしょうか。

東京、東京と云っても広御座居ます。東京から横須賀線に乗って三〇分下車した処、港祭りや有名な横浜で御座居ます。

水泳プールも最近急激に増加しましたですなあ。全く立錐の余地もない。飛び込もうと思つて下をのぞくと中学生・高校生・社会人が群がって泳いでいる。何とか Good Idea はなすものか。

よし構わないからプール全体に響き渡る程の大声を張り上げてみようと云うことになるが、いざとなると案外声がでないものである。それでもやっとの思いで大声を張り上げたら二〇〇三〇人が一度に *Space* をあけてくれたので、猛烈な *Clash* ができたと言わうわけ。すく *Strong Heart* ですな。それにしても水泳は全身運動で *Sports* であるが、年をとると一人ではどうも面倒くさくなってしげな *S*。

外国勢が余り強くなり過ぎた関係か、水連の底辺からの必死の努力にも拘わらず、最近は一頃に比べて人氣が落ちてきていることは事実である。All Japan の入場数がはつきり之を裏付けている。

それにしても何処のプールに行ってもプールで泳いでいる人は全部と言ってよい程楽しげに水泳を *Enjoy* しているように見える。僅かな場所でも不平一つ言わずに楽しげに泳いでいる。之が人生楽しさで一杯だと言うことを裏付けている証拠とも言うてよいのでしうね。ほんまによかったねえ。

ブームはプールだけでなくあらゆるレジャー部門に波及して居ります。プロ野球、相撲、映画、ゴルフ、マージャン、ボーリング、パチンコ、釣、登山等々。

野球も大したもんですね。矢張り大衆にアピールする力を持って居るんですね。学生野球は何処か片隅に押しやられてしまつてプロ野球に完全王座を奪われた感じである。これ程大衆化したプ

ロ野球も、何万人と云う観客数を動員して居ながら採算点を下廻る現状で、セ・パ両リーグとも採算がとれているのは優勝チーム位らしいから全くゼニをとると云うことは難しいですわ。プロ野球は何と言つてもポロを出してたんではあきまへん。人に見せる *Game* ですから。何年たつても矢張り巨人一阪神戦に人氣が集まるのは一体どう云うわけなんでしょう。この試合だけは入場券を購入するのに一苦労します。看板試合は矢張り違います。全く何処へ行つても一杯だ。人の頭をみている様なものです。

学生野球も早一慶戦だけは伝統の *Game* だけあって面白い。試合よりも応援団の試合をみに行っている様だ。

相撲も可成り國技館に足を運んだが、矢張り強さの点では大鵬はこの一〇〇二〇年間に於て当代随一である。身体の調子さえよければ、何年でもやつて貰い悪い不世出の大横綱である。三一回の優勝なんてよくもまああんなに数多く優勝したもんです。歴代の大横綱と比較しても土俵上に於ける立居振舞は当代随一である。柏戸一太鵬戦確かに良かったですね。どんな時でも初日、中日、千秋楽は完全に満員札止めの盛況は日本の國技と言われる所以である。

ゴルフ。緑の芝生を眺めながらクラブを力一杯に振つて白球を二五〇〇三〇〇ヤード遠方へ *Direct* に打つた時の気持ち良さは格別なものである。最近のゴルフブームは釣と同じ様に全くすばらしいです。一ヶ月も前から予約しておかないとできないよう

に於てゐるのだから厭になります。最近の成績は *handy 30*
9 holes 244/55 strokes の辺をうろちゝるして居ります。時間と金が充分な位でしようね。日曜日なんてゴルフは一寸やれそうにない位の盛況である。一度ゴルフをやり出すと仲々止められないと云うのも、やった後のさっぱりした気分の良さが格別だからなんでしょう。

ボーリング。ボーリング場もふえたし、ボーリング熱も随分普及したものである。予約料を払わないと全然できなない様になつてゐる。レジヤープームのパロメーターである。

今回は疲れたからこの辺で止めておきましょう。ホンマニ何処に行つても一杯だ。穴でもあつたら入り度い。こういう環境に置かれた方は誰でもあるに違いない。

では皆さん。下らん記事をゆっくり読んで戴き有り難う存じました。次回素浪人案水子は何にするか今の処考えて居りませんがその中になにかよい案でも浮ぶかも知れません。

Bye Bye!

凌泳会会費納入の件

本件に關し多少文句を言わせて貰う。会則第一〇条に依れば、「正会員は会費として年額一千五百円を当会へ納入する」となつ

てゐる。極めて筋の通つた、当方を得た文言の如く感ずるが甚だ不徹底な文句である。納入対象が水泳を道楽とする会員に限られるからである。言葉を換えれば、「会費は飽くまでも寄付金であつて納入の義務はない。支払つても尺払わなくても何れでもよい金一千五百円の会費である」と云う意味である。甚だ都合よくできた、無責任な会則であると同時に、人を馬鹿にした会則である。「俺にけそんな支払義務はないのだから払わないよ」で正当な理由になつてしまふ。現会則では水泳を道楽にした会員しか積極的にしか寄付しないと思ふ。

現役員は困ると容易に想像できるが、会則がこうなつてゐる以上どうにも手をつけられぬ。

そこで現役学生の立場に立つて「現役員員の切実感を会則の中に折り込んで、会則をもう少し補足訂正することはできないか」と云う問題を提起したのである。

幹事の数を何人増加しても解決できる問題ではないと思ふ。幹事は各地区に精々二名も居れば充分である。水泳連盟とは本質的に異なるものだからである。

会費義務制に付き反対がある様であるが、その理由を具体的に聞かせて貰いたいものである。

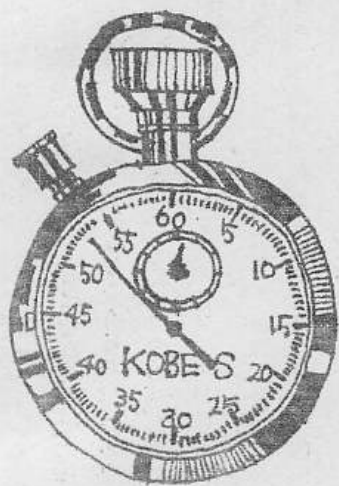
現会則では現役が寄付を集金に行ける処は、前以て確実に納入して貰える事を確認し得た所だけに限られる。無条件に寄付金を集金に廻ると云うことは会則の本旨と根本的に矛盾してゐると思

絶対に必要な会費であることを会員が認識していれば、現役がせずとも自発的に納入する筈である。その絶対的必要性を会則に補足することが必要なることが分かって居って何故出来ないのであるか。

幹事が無責任な為か。会員全体が無責任なのか。それとも現役部員が切実感を先輩O・Bに上手に説明できないのか。この点はつきりしたい。

正直言つて私自身、現会則では金額の大・小に拘らず会費を納入する気にとでもなれそうにないのである。

一考を煩わす次第である。



現役の部

我が水泳の記

農学部農学生産工業科一年

印 南 修 三

私は幼い時よりプールに恵まれたかった男のように思う。郷家は海にはごく近く、毎夏友と良く泳いだ。太陽のきらめく下、私は、緑青の海の中を、十メートルぐらい距離を決め友と競泳を試し、自己流の泳法を誇らしく思ったものだった。その謂とあつてか今もなお私のブレ足のけり方が違法なのである。しかし、ここでは競泳の持つ激しいしんどさを全然知らなかった。海が近いといった理由からか私の小・中・高の学校にはプールがなかった。その反証といへば私には高校時代からプールで、水泳を競うという事に嫌いのりと、時には猛烈に好奇心をもやした。

やつのことで大学に入学した私は、それでもいちおう、どのクラブに入部すべきであるか検討した。理由の一つに水泳でもっ

でクラブというものが成り立つかという不安があったからである。私は以前より大学へ入れば「クラブ」に入部しようと考えていたからである。水泳は個人競技をるゆえ、どうしても、何か欠けた「クラブ」になるのではないかなと思つたからである。しかしどう考えても水泳を試して見る事をあきらめきれなかつた。

私は春の合宿（淡路島・大磯ブルーにて）の一日前（四月二十八日）に入部した。だから私は合宿というものから水泳を始めた。その時の感想と言へば、私は（私が）「コンナニ、オソカッタノカ」と言う所だつた。最初、泳いだのが二百メートルだつたが、慣れないブルーの中を私は、六甲山のドライブウェイのように、くねくねとみごとなカーブたちを描いて泳いだ。二百メートルを泳ぎぬき、しみじみとその苦痛を味わつてゐる私に先輩が「おまえは良く曲がるな」とホメてくれた。五日間の合宿は私にはこの世の沙汰とは思えなかつた。急に自己最長の距りを五日間も泳ぎこなしたせい気分が悪くて鯡が食えなくて、がつがつとつまさうに食う先輩たちをねたんだものだ。その時、私は、日誌にブルーの水が恐しいと書いたように思う。毎朝十時にブルーのスタート台に立つ時は、まるでマリアナ海峡に身を投げるかのように感じた。一メートルそこそこのブルーの底が、とてつもなく深く、私が泳いでいる途中にその底へと消えていってしまうのではないかと疑つた。そのよりな五日の合宿を終え帰船の中で、仲間たちの中ですがすがしい快感を覚えた。それは大げさではあるが、五

日間を耐えぬいたという満足感がそりさせたのかもしれない。そしてそのように皆も感じてゐるだろうと思われる仲間たちの顔が私の回りにならんでゐた。

その後すぐ私は、クラブをやめるなどとたわけた事をぬかしたことがあるがこれは、ただただ私の勇気のなさと不まじめさと、あまっちょろさの理由に帰するものであつた。

その後、私は何たる事件もなしにこままでやってきたわけであるが、人数が少ないため一年で試合に出させてもらえた私は、旧三箇大戦がいちげん印象深い。成績と言へば、試合が終り、応援にかけつけてくださった先輩がたに御ちそうになり、色々な話をしていただいた時のことである。その話からはつきり感じとれた水泳への情熱と愛憎が私のくすぶりかけた根性をさましてくれたように思つた。そういう中に私は初めてお目にかかる先輩方にも何だか毎日お目にかかり勇気づけられてゐるような親しみが感じられた。

今のクラブの状態は、正直を所決してうまくいつてゐると思われぬ。しかし私たちは今後、先輩がたに恥じぬ様を水泳人、水泳部を創つて行くことを約束できます。今後、先輩諸兄の御指導をお願い申し上げます。

入 部 ・ 記

22 田 生 植 西 勝

僕は理学部物理学科一年生です。入学式を終え、五月上旬に授業が始まるまで、一カ月間アルバイトをしていたので、オリエンテーションのクラブ紹介には出席せず、水泳部に関しても、学校から郵送されてきた学生生活案内書を見ただぐらいで、どのクラブに入ろうかと迷っていました。

僕がやりたかったのは、水泳、空手、サッカー、テニスなどで、同好会があれば、入会して広くやりたいと考えていましたが、幸か不幸かなかったのと、水泳部から勧誘の葉書が来て、『大学とは何か、クラブとは何かを考え且つ行動する部員を求めろ』なんて、カッコイイ殺し文句が書いてあったりしたので、太した目的も意志もなく、なんとなく入部したのが、六月六日でした。

その時、一年生は、既に三人しかいませんでしたが、皆、僕が思っていたよりも、じょうず（決して速くない）だったので、嫌だなあと思っていました。（実は、全然泳げない者、もしくは、全然進まない者もいるんじゃないか、なんて思っていたのです）あれこれ思いながら、やっけていくうちに、対抗試合や先輩方と接して、そんな気持ちも次第に、なごんでいきました。

というのも、京阪神の先輩方や、今年の旧三商大戦で、一橋大学に行った時に、試合を見に来てくれた先輩方の話を聞いたり、昨年の競泳を見たりして、先輩たちが、悪い環境をもととせず水泳にうちこまれ、仲間との強い連帯感のもとに、厳しい練習に耐えぬかれた姿が目につかぶようでした。

しかも、その学生時代の数年間が、現在も、新鮮ですばらしい思い出として、脈々と流れているのを感じ、非力ながら僕も、一生懸命やらなければならぬのだ、という思いにかられたことです。

これからも、先輩諸兄の御指導をお願いします。

シーズン終って思うこと

E 22 長谷川 健

水泳部に入って四ヶ月、またたく間に過ぎてしまってもうシーズン・オフになってしまった。四月末の入学式、そしてクラブ紹介の時は、どこかの運動クラブへ入りたいとは思っていたが、まだ具体的にどこに入るか決めていなかった。それがどういりわけて水泳部に入ったか、はっきりわからない。しかし水泳は、以前から好きなスポーツだったし、一応泳げたことが動機となったのだろう。しかし今振り返ってみて、入部して大変良かったと思

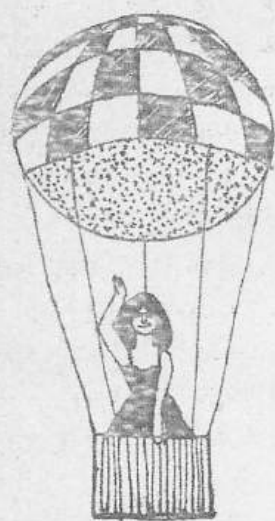
っている。

「入部させて下さい」とプールへ出かけていったのは五月の始め、授業がはじまって間もない頃だった。「泳げるだけ泳いでみる」と言われて泳いでみたら、やっとこさ泳げたのは二〇〇米。これにはいささかショックだった。もう少し泳げると思っていたのに……。「ゆっくり一年かけて体を元に戻すつもりでやってみる」と言われてポチポチと泳ぎ出した。一週間位たってやっと八〇〇米泳げるようになった。確か二〇分以上かかっていたと思う。それからは泳ぐたびに記録が上っていき、泳ぐのがたのしくて仕方がないという風になってきた。泳ぐたびに記録が上がるという事ほど楽しいことはない。しかしポロでは苦勞させられた。巻き足はなんでこんなにしんどいんだろう。なかをか体が浮かなかった。ひざの裏は痛くなってくるし、顔をあげてもアップアップ。体力不足は如何ともし難かった。来年こそはこんなことがないようしつかりトレーニングをしておこうと思っている。六月の合宿は一週間毎日雨にたたられ、タオルも何もかもビシヤビシヤ、なんとも情けなかった。しかしこの合宿の最後にやってもらった歓迎コンパは楽しかった。三宮まで出かけていってつぶれてしまったけれども。

大学に入ってから水泳を始めたからには、まず試合に出れるとは思っていたのに出してもらえなかったのは嬉しかった。しかし初めてロングプールで泳いだときはオーバーペースになってしま

ってさんざんであった。苦い教訓である。しかしオーバーペースで泳ぐ位のほうがかえっていいとも思う。事実予う四年生に言われた。八月末の試合では人数が少なくなってしまうってフルにエントリでできない位になってしまおうとは思ってもいなかった。入った年からボンボン試合に出させてもらったのは幸せだったと思う。今この四ヶ月をふり返ってみたら、苦しいこともあったが今からみれば楽しい思い出である。記録もバググンのびた。(割合からいえば。たしかに記録的にみて満足できる記録では決してない)今は練習も半分休養みたいになり前期末の試験に追いまわされ始めたが、毎日泳ぎたくてしかたないので、教養部からの通称定年坂をのぼってプールに通っている。

最後に、来シーズンも今シーズンを土台にして更に大きく記録を伸ばしたいと思っている。



昭和45年度 戦 績

☆ 大阪市立大学・神戸大学対抗水上競技大会 昭和45年7月12日 於 神大プール

○ 400 m 混継泳 5-19-2 2位
(印南、岩切、大橋、米田)

○ 400 m 自由形
佐敷 定雄 5-28-4 2位
小林 育夫 5-56-0 5位
得丸 哲士 6-27-4 6位
(1位 西尾 隆男 5-26-4)

○ 200 m 平泳
米田 章 3-36-9 4位
植西 勝 4-13-2 6位
有田 義則 3-49-4 5位
(1位 藤本 和 2-59-2)

○ 200 m 蝶泳
大橋 進 2-50-6 1位
岩切 博 3-02-4 2位
藤井 元洋 3-45-2 6位

○ 200 m 背泳
印南 修三 3-14-2 3位
松浦 義和 3-43-4 6位
菊田 修三 3-24-0 5位
(1位 刀禰美喜男 2-45-4)

○ 100 m 自由形
佐敷 定雄 1-06-2 2位
小林 育夫 1-09-2 4位
米田 章 1-11-1 5位
(1位 山田 章夫 1-05-0)

○ 800 m 自由形
得丸 哲士 13-14-9 3位
藤井 元洋 13-17-4 4位
印南 修三 13-57-2 6位
(1位 西尾 隆男 11-31-6)

○ 200 m 個人混泳
大橋 進 2-53-6 3位
岩切 博 2-54-0 4位
岡本 優 3-46-8 6位
(1位 河野 康雄 2-47-4)

○ 800 m 継泳
神大チーム(小林、岩切、佐敷、大橋)
10-28-6 2位
(1位 市大チーム
福永、竹内、西尾、山田)
10-13-6

得点累計 大阪市立大学 114点
神戸大学 70点

水 球 市大17-0 神大

☆ 関西国公立大学水泳競技大会 昭和45年7月17日, 18日

於 大阪府立大プール

○女子50m自由形(決)

正井 康子 39-5 4位

○男子400m混泳(決)

岩切 博

○男子800m自由形(決)

佐敷 定雄 11-52-0 7位

○女子100m自由形(決)

正井 康子 1-31-3 5位

400m継泳、800m継泳 決勝進出 着外

☆ 旧三商大(三大学戦)水上競技大会 昭和45年7月26日

於 一橋大小平プール

○400m混継泳

神大チーム(印南、岩切、佐敷、小林)

5-12-2 3位

(1位 市大 刀禰、藤本、川越、福永)

4-56-0

○100m自由形

小林 育夫 1-10-4 4位

米田 章 1-11-0 5位

(1位 福永 生 市大)

1-02-8)

○800m自由形

藤井 元洋 13-00-8 5位

得丸 哲士 13-23-3 6位

(1位 吉川弘哉 市大)

11-31-8)

○200m背泳

印南 修三 3-02-2 4位

松浦 義和 3-39-6 5位

(1位 刀禰美喜男 市大)

2-41-0)

○200m平泳

岩切 博 3-00-0 3位

米田 章 3-46-2 6位

(1位 藤本 和 市大)

2-55-8)

○200m混泳

岩切 博 2-54-6 3位

小林 育夫 3-48-1 6位

(1位 河野 康男 市大)

2-47-6)

○ 400m自由型

佐敷 定雄 5-24-4 1位
小林 育夫 5-47-1 5位

得点

大阪市立大学 86点
一橋大学 46点
神戸大学 45点

○ 200m蝶泳

佐敷 定雄 2-54-4 2位
藤井 元洋 3-50-0 4位
(1位 川越 英次 市大
2-53-3)

水球

神大 0-14 一橋大
神大 2-13 大阪市大

○

1位 大阪市立大学

○ 800m継泳

神大チーム(岩切、米田、佐敷、小林)
10-32-6 2位

2位 一橋大学

3位 神戸大学

(1位 市大チーム

竹内、西尾、福永、山田)

10-19-3

☆ 近畿地区国立大学体育大会 昭和45年8月27日、28日

於 奈良教育大プール

○ 200m個人混泳

岩切 博 決勝進出 落外

○ 400m混継泳

神大チーム(印南、岩切、佐敷、米田)
5-12-0 5位

○ 100m蝶泳

佐敷 定雄 1-08-5 (大会新)
1位

○ 200m背泳

印南 修三 3-06-5 5位

○ 100m背泳

印南 修三 1-26-3 6位

1位 京都大学

4位 京都教育大学

2位 大阪大学

5位 大阪教育大学

3位 神戸商船大学

6位 神戸大学

☆ 京阪神三大学対抗水上競技大会 昭和45年9月2日 於 大阪プール

○ 400m 個混泳

岩切 博 6-41-6 6位

○ 400m 自由型

藤井 元洋 6-09-1 6位

○ 800m 自由型

藤井 元洋 12-50-3 5位

○ 200m 蝶泳

佐敷 定雄 2-50-9 2位

○ 100m 自由型

米田 章 1-11-7 5位

○ 800m 継泳

神大チーム (米田、藤井、岡本、佐敷)

11-20-6 3位

○ 200m 背泳

印南 修三 3-07-1 4位

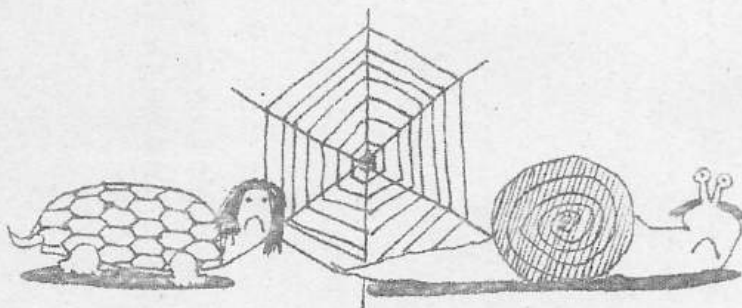
得点 1位 京都大学 95点

2位 大阪大学 93点

○ 200m 個混泳

佐敷 定雄 2-54-4 3位

3位 神戸大学 17点



凌 泳 会 々 則

第一章 総 則

第一条 (名称) 本会は凌泳会と称する。

第二条 (事務所) 本会は事務所を神戸市灘区六甲台町・神戸大学に置くこととし、宛先は同大学生課気付「凌泳会」とする。

第三条 (目的) 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする。

第四条 (事業) 本会は前条の目的を達成する為に左記の事業を行き。

一、会誌「凌泳」の発行

二、会員相互の連絡

三、定例総会及び各種の親睦会合

四、神戸大学水泳部発展の為の指導及び援助

五、その他、本会の目的を達成するに必要な事項

第五条 (会則の改廃) 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

第二章 会 員

第六条 (会員) 本会の会員を分けて正会員及び特別会員とする。

第七条 (正会員) 正会員とは次のものを云う。

国立神戸高等商業学校 国立神戸商業大学 神戸経済大学 神戸大学

以上の諸学校に於て、在学中水泳部に所属したもの

第八条 (特別会員) 特別会員とは次のものを云う。

第十條 (會費)

一、前條の諸學校で水泳部々長及び副部長であつた者及び現在ある者
二、その他總會の決議によつて推薦した者。
正會員は會費として年額一、五〇〇円を當會へ納入する。

第三章 役員

第十一條 (役員)

本會には左記の役員を置く。

會長	一名
副會長	一名
幹事長	一名
本部幹事	若干名
支部幹事	若干名
會計幹事	二名以内

第十二條 (改選)

役員の改選は總會の決議によつて行なり。

第十三條 (任期)

役員の任期は一年とし再選を妨げない。

第十四條 (會長)

會長は本會を代表し且つ統轄する。

第十五條 (副會長)

副會長は會長を補佐し、會長事故ある時はこれを代行する。

第十六條 (幹事長及び本部幹事)

幹事長及び本部幹事は會長、副會長を補佐し総括的會務の執行に當る。

第十七條 (支部幹事)

支部幹事は各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

第十八條 (會計幹事)

會計幹事は會計の監査に當る。

第十九條 (役員會)

會長、幹事長、本部幹事を以て、役員會を組織し、役員の決議に従ひ會務の運営に當る。

第二十條 (招集)

役員會は會長これを招集する。

第四章 総 会

第二十一条（招 集） 総会は少くとも二週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以て会長これを招集する。

第二十二条（時 期） 総会は毎年五月に開催するものとし、臨時総会は必要に応じて招集する。

第二十三条（議 決） 総会の決議は出席会員の過半数を以て決する。

但し、当該議事につき、書面を以てあらかじめ意志を表示したものは出席とみなす。

第五章 会 計

第二十四条（経 理） 本会の経理は、会費、寄附金及びその他の収入によって賄う。

第二十五条（決 算） 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告し、その承認を受ける。

第二十六条（期 間） 本会の会計年度は毎年四月一日より三月三十一日までとする。

第六章 雑 則

第二十七条 本会則は昭和三十九年五月十六日より発効する。

以 上

昭和44年度会計報告

水 泳 部

収入	前年度繰越	9,696	
	部 費	36,000	(第一BANKアルバイト)
	後泳会援助	7,180	
	会 合 費	39,500	(歓迎コンパ 8,500)
	合 宿 費	70,500	(追出し 31,000)
	育友会援助	19,260	
	合 計	236,756	

支出	水連登録料	11,200	
	試 合 費	17,000	(関西国公立、三商大、市大戦)
	合 宿 費	109,135	
	会 合 費	41,080	
	交通・通信費	4,200	
	医 薬 費	1,830	
	燃 料 費	6,260	(灯油、風呂用)
	設 備 費	12,070	(コースロープ、ベンキ代)
	消 耗 費	9,600	
	練 習 費	13,500	
	雑 費	2,540	
	次 期 繰 越	8,341	
	合 計	236,756	

昭和44年度会計報告

競 泳 会

収 入	競 泳 会 費	185,000
	寄 附 金	45,000
合 計		180,000

支 出	競 泳 発 行 費	22,500
	水 泳 部 援 助	71,300
	会 合 費	21,270
	通 信 費	27,850
	交 通 費	16,820
	市大戦パンフレット	15,000
	雑 費	5,260
合 計		180,000

昭和 4 5 年度 予 算 案

水 泳 部

収 入	前 期 繰 越	8,341
	部 費	8,600
	凌 泳 会 援 助	10,000
	育 友 会 援 助	3,000
	合 宿 費	20,000
	会 合 費	5,000
	合 計	42,434

支 出	水 連 加 盟 費	14,000
	試 合 費	23,000
	合 宿 費	20,000
	会 合 費	5,000
	交 通 費	10,000
	燃 料 費	7,000
	練 習 費	20,000
	雑 費	341
	合 計	42,434

昭和45年度予算案

凌 泳 会

収 入	凌 泳 会 費	200000
	寄 附 金	80000
	合 計	280000

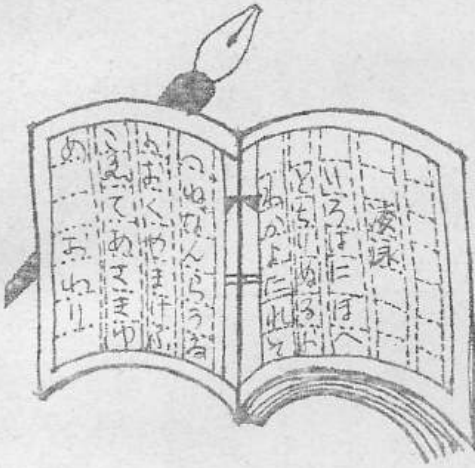
支 出	凌 泳 発 行 費	35000
	水 泳 部 援 助	100000
	会 合 費	30000
	交 通 費	20000
	通 信 費	30000
	月 例 会 費	20000
	積 立 金	45000
	合 計	280000

編 集 後 記

毎年のことながら、今年の凌泳も発行が遅れてしまつて
申し訳けなく思つております。

現役員との接触がこの凌泳だけだとしているO・B諸
兄におかけしましては、これから先、もっともつと御意見を
お聞かせ願いたいと思つておりますので、よろしくお願ひ
致します。

(岡本記)



昭和四十五年十一月一日発行

発行所 神戸市灘区六甲台町

凌 泳 会

神戸大学水泳部

編 集 神戸大学水泳部凌泳編集係

発行者 岡 本 俊

印刷所 神戸市東灘区住吉町垣内三

小野印刷株式会社

電話 八五―〇六〇一